

可動  
間仕切  
収納

セフィット

可動間仕切収納

アッパーBOX / フィラーBOX

## 取扱説明書

施工完了後この取扱説明書と施工説明書を必ずお客様にお渡しください



この度は、セフィット「可動間仕切収納」をご採用いただきまして誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、みなさまに本商品を正しく、そして末永くご愛用いただくために知っておいていただきたいことを説明しています。

ご使用前に必ずお読みください。

1. 安全上のご注意 1
2. 使用上のご注意 2
3. 商品について 3
4. アッパーBOX / フィラーBOXの外し方 4
5. アッパーBOX / フィラーBOXの取り付け方法 7
6. 収納本体の移動 9
7. ユーザーサポート 15

ce-fit

# 1. 安全上のご注意 必ずお守りください

■本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ず知っておいていただきたい項目です。

## ⚠ 注意

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



してはいけない「禁止」を示しています。

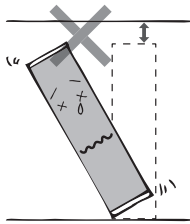


必ず実行していただく「指示」を示しています。

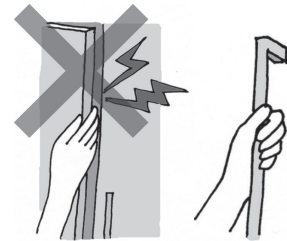
## ⚠ 注意

収納ユニットは天井に突っ張って固定してください。

この商品は天井に突っ張って固定する商品です。天井と突っ張れない場所に設置した場合、転倒の恐れがあります。万一、天井に突っ張らずに設置して転倒事故が発生した場合、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。



扉の開閉は取手を持って行ってください。スキマなどに指や手を入れないでください。扉を持って閉めたり、扉のスキマなどに指を入れたまま扉を開けると、指をはさむなどのケガをする恐れがあります。



本体の中に入ったリハンガーパイプにぶら下がったりしないでください。

本体の破損やハンガーパイプの変形によりパイプが落下し、ケガをする恐れがあります。特に、小さいお子様には十分ご注意ください。



扉や取手などにぶら下がったり収納ユニットにぶつかったりしないでください。

収納物の落下や取手脱落によるケガの恐れがあります。特に、小さいお子様には十分ご注意ください。



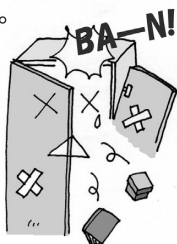
重量物を収納しないでください。

この商品の最大収納量の目安は棚板1枚あたり20kgです。それ以上収納すると、棚板が外れたり破損したりする恐れがあります。収納物はなるべくヶ所にまとめず、棚板に均等になるよう収納してください。



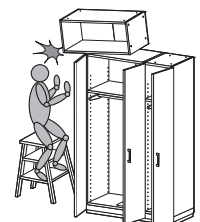
扉や引き出しの開閉は静かにゆっくり行ってください。

強い力をかけすぎると、扉や引き出しの破損や脱落が起こり、ケガをする恐れがあります。



BOXを下ろす際は注意してください。

BOXを下ろして本体を移動する際は、必ず収納物を外に出し、扉を外してから2人以上で作業を行ってください。  
※ BOX重量:10~40kg



## 2. 使用上のご注意 必ずお読みください

### ⚠ 注意

ストーブなどの熱源を近づけないでください。  
また、直接温風があたらないようにしてください。

ストーブなどの暖房器具や高熱を発生する照明器具を近付けすぎた場合、扉の変形・変色の恐れがあります。



水濡れしないようご注意ください。

水に濡れると変質する恐れがあります。  
水がかかったりこぼれたりした場合はすみやかに拭き取ってください。



収納ユニットの移動は慎重に行ってください。

移動の際、手や足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。また、収納ユニットと照明器具、感知器や、エアコン・カーテンレールなどがぶつからないよう注意しながら移動してください。



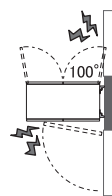
事故防止のため作業は2名以上で行ってください。



収納本体の設置場所周辺に注意してください。

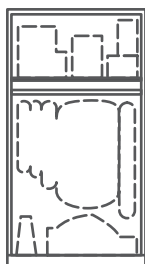
収納本体設置場所を決める際は、設置・移動した場所で、建具の開閉や収納扉の開閉に支障がないかどうか周辺をよく確認してください。

※ 収納扉は100°開きです。  
取手や扉が壁や窓、ドア枠に当たると、キズや破損の恐れがあります。支障がある場合は戸当たりなどを取り付け、直接当たらないようにしてください。



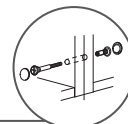
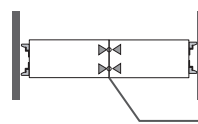
移動時は収納物をすべて取り出してください。

ジャッキアップキャスターの故障、床面へのキズやへこみの原因となります。必ず空の状態で作業を行ってください。



収納ユニットを移動する際、必ず本体連結金具を外してください。

連結したままジャッキアップハンドルを回してユニットを昇降させると、本体の破損の原因となります。本体同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。本体が連結されている場合、本体連結金具を外してください。

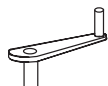


本体連結金具  
(キャップ付き)

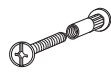


部品の保管をお願いします。

本体の組み立て方により、部品があまる場合があります。次に使用されるまで大切に保管してください。



ジャッキアップハンドル



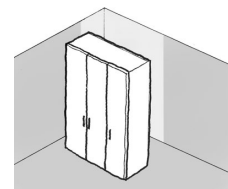
本体連結金具



穴隠しキャップ

色違いにご留意ください。

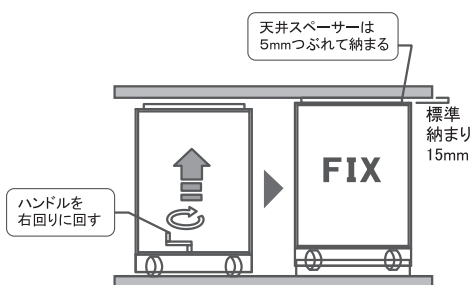
数年後に収納を移動する際、周囲の床板、壁、クロスなどが日焼けして設置していた場所との色違いが生じることがあります。移動の際は、十分ご注意ください。



収納ユニットの固定の際、特にご注意ください。

ジャッキアップハンドルを右回りに回すと、収納ユニットと天井の間のスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるところまで回すと正しくしっかり突っ張った固定状態となるよう設計されています。止まるところまで回してください。

※ 住宅の経年変化で天井の高さにバラツキが出ることがあります。その際、ハンドルを最後まで回すと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります。ゆっくり確認しながらハンドル操作を行い、天井を押し上げないようご注意ください。

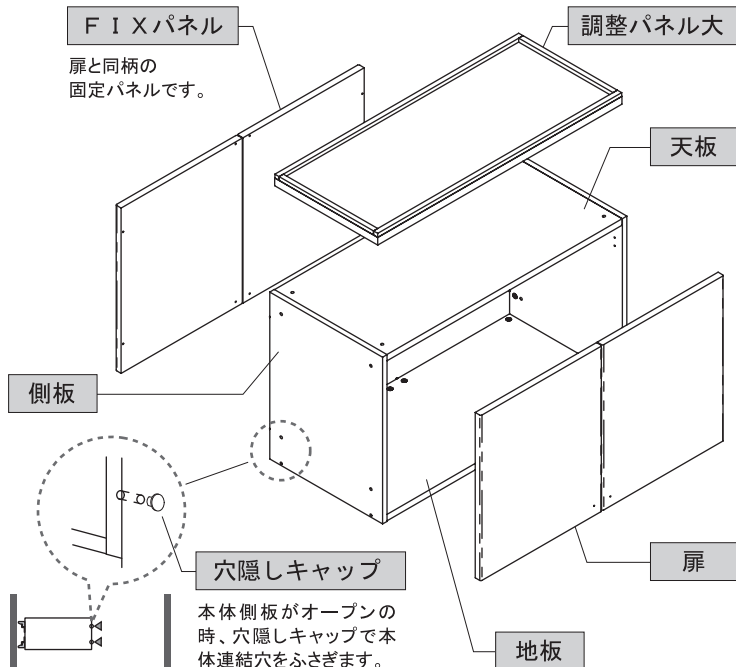


### 3. 商品について

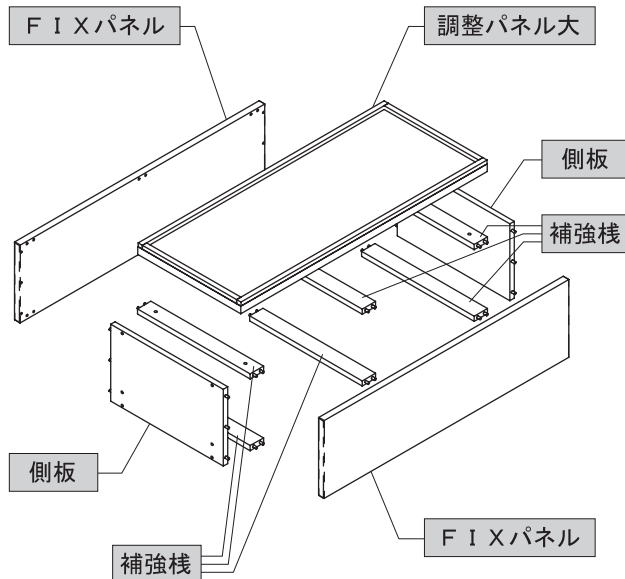
#### アッパーBOX / フィラーBOX

※この製品図は代表的なものです。お客様のご使用になるものとは異なる場合があります。

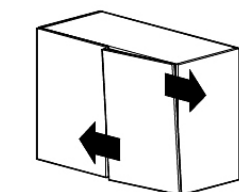
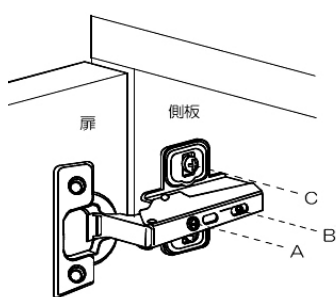
#### 〈アッパーBOX〉



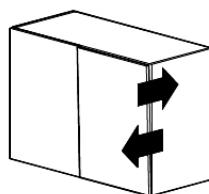
#### 〈フィラーBOX〉



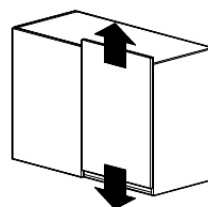
#### 【スライド丁番の調整】



丁番のAネジを回すことで扉の左右のズレを修正できます。  
調整代：+1mm, -3mm

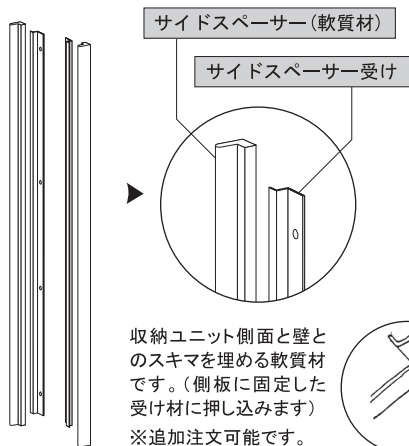


丁番のBネジを回すことで扉の前後のズレを修正できます。  
調整代：+3mm, -2mm



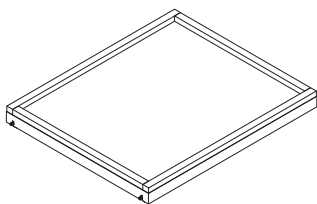
丁番のCネジを回すことで扉の上下のズレを修正できます。  
調整代：+2mm, -2mm

#### サイドスペーサー



#### 調整パネル小

収納ユニットと梁の隙間を埋めるパネルです。(本体ユニット天板に取り付けます)



#### ■ お手入れ方法について

表面が汚れたときは、家庭用中性洗剤を薄めた水にひたした柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いて、仕上げに乾いた布で乾拭きしてください。化学ぞうきんをお使いの際は、ぞうきんの注意書きに従ってください。

静電気による汚れは、耐電防止剤入りのOAクリーナー等で拭き取ると、キレイな状態が長持ちします。シンナー・ベンジン等を使用した場合、変色やクラックの原因となります。決して使用しないでください。



#### ■ 不具合箇所は無理に直さずご相談ください

可動部のガタツキ、異音がする等不具合箇所がある場合は、ご相談ください。無理に直そうとした場合、落下や破損によりケガをする恐れがあります。



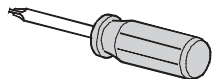
## 4. アッパーBOX / フィラーBOXの外し方

■収納本体を移動してレイアウトを変更する際、BOXの取り外しが必要になります。  
ここではBOXの取り外し方法についてご説明します。

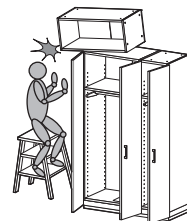
### ⚠ 注意



作業には⊕ドライバーが必要です。作業をする際は周囲に物が無い安全な場所で行ってください。  
また、アッパーBOXの扉を取り外す際は扉の落下等にご注意ください。



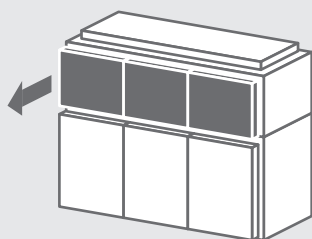
アッパーBOXを下ろして本体を移動する際は、必ず扉を外してから作業を行ってください。  
また、BOXは10~40kgありますので、上げ下ろしの際は必ず収納物を外に出した空の状態、2人以上で作業を行ってください。



### 1

#### 扉を外す

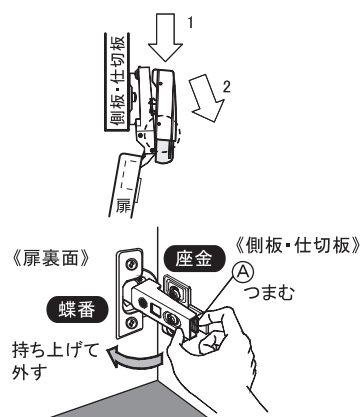
アッパーBOX



- 戸当たりダンパーを奥から手前に押しながらか手前に引きます。
- 片方の手で扉を持ち、もう片方の手で扉裏面の蝶番後方にあるⒶの部分で指で挟んでつまみます。
- Ⓐの部分をつまんだ状態で蝶番を持ち上げて座金から外し、扉を取り外します。

#### ⚠ 注意

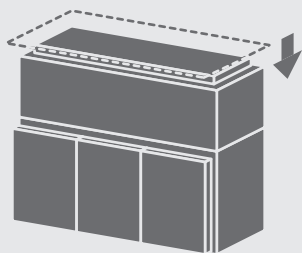
扉の取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。



### 2

#### 全体を下げスキマをつくる

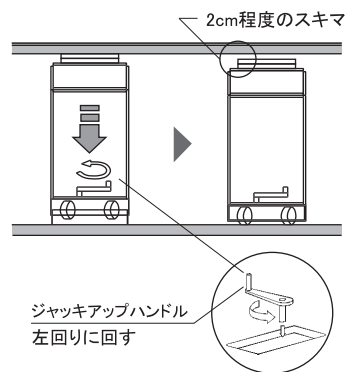
アッパーBOX フィラーBOX



- ジャッキアップハンドルをふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。
- ハンドルを15~20回程度、左回りに回して収納本体と天井の間に2cm程度のスキマをあけます。

#### ⚠ 注意

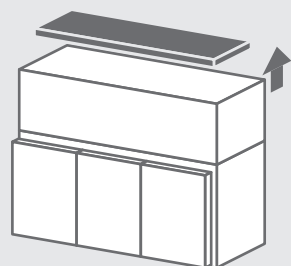
ハンドルをロックするまで回すとキャスターが床に接地し可動状態になり、作業時不意に収納が動く恐れがあります。収納本体が動かないことをご確認ください。



### 3

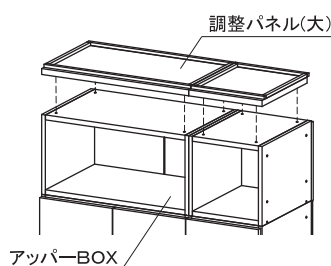
#### 調整パネルを外す

アッパーBOX フィラーBOX

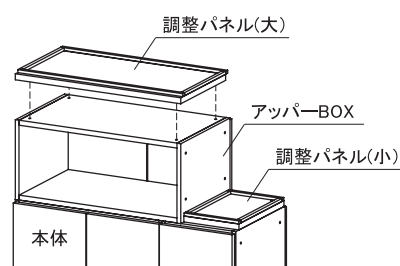


調整パネルは、アッパーBOXの種類によって大と小があります。

<本体同幅アッパーBOXタイプ>



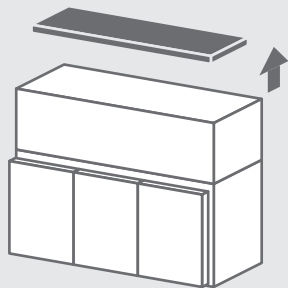
<梁欠き対応タイプ>



## 4. アッパーBOX / フィラーBOXの外し方

### 4 調整パネルを外す(続き)

アッパーBOX    フィラーBOX

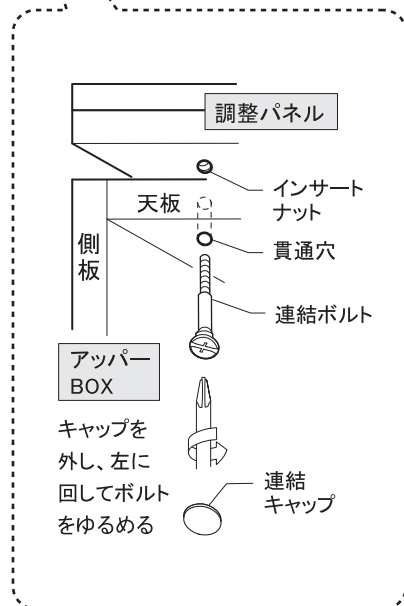
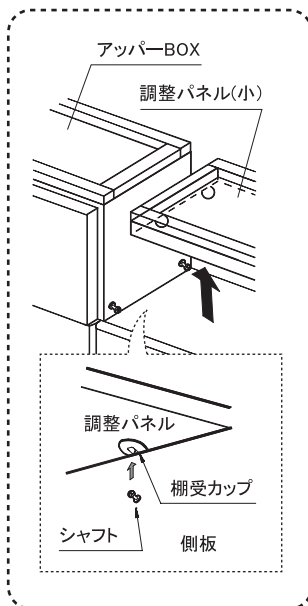
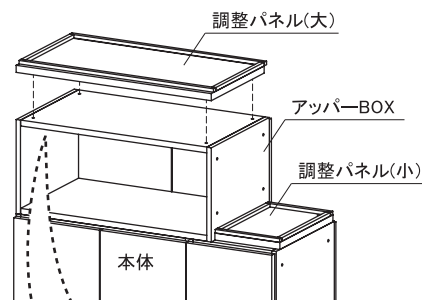


#### ▲ 注意

調整パネルの取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

① アッパーBOXの天板と、調整パネルを連結している連結ボルトのキャップを外し、連結ボルトをゆるめます。(右図参照)

※ 調整パネル(小)が設置されている場合は連結ボルトをゆるめた後、調整パネルを上を持ち上げ、シャフトと棚受けカップを外してください。



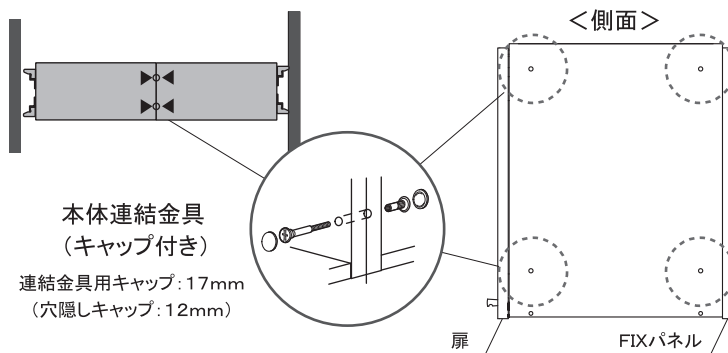
② 周囲に十分気をつけながら、調整パネルを下ろします。

フィラーBOXの場合

フィラーBOXに連結している調整パネルは、BOXを下ろしてから取り外してください。

! ③ アッパーBOX同士が連結されている場合、連結金具を外します。

収納ユニットの移動の際必ず本体連結金具を外してください。



連結したままアッパーBOXを外そうとすると、アッパーBOXの側板の破損の原因になります。

アッパーBOX同士が連結されていないかどうか必ずご確認ください。

アッパーBOXが連結されている場合、本体連結金具を外してください。

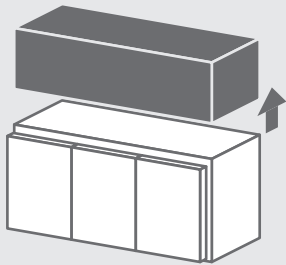
※ 連結は片側4ヶ所です。

## 4. アッパーBOX / フィラーBOXの外し方

### 5

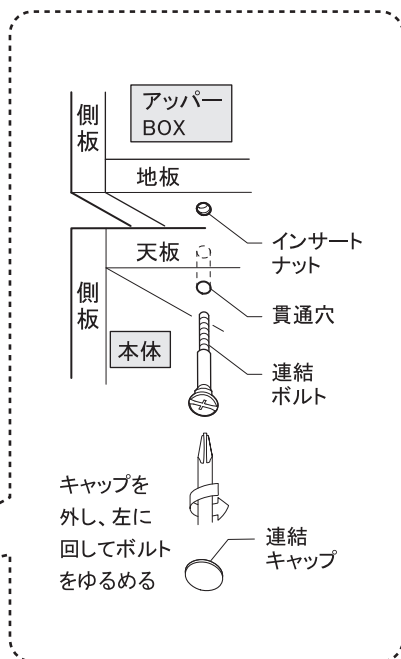
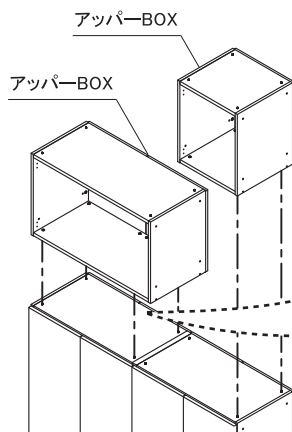
#### BOXを外す

アッパーBOX      フィラーBOX



① 本体の天板と、アッパーBOXを連結している連結ボルトのキャップを外し、連結ボルトをゆるめます。

※ 連結ボルト・連結キャップは大切に保管してください。

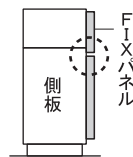


② 周囲に十分気をつけながら、アッパーBOXを下ろします。

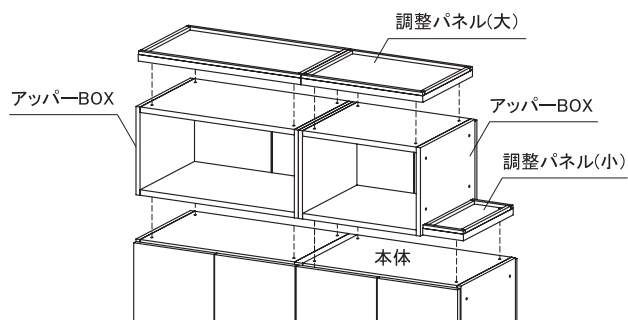
※ アッパーBOXを2台乗せている場合は、1台ずつ下ろします。(下図参照)

▲ 注意

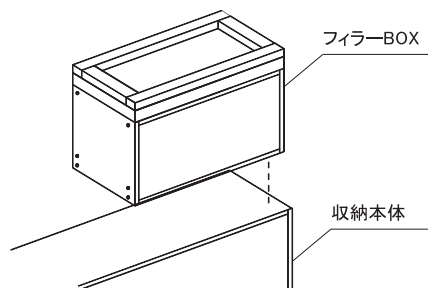
FIXパネルがアッパーBOX地板より下に出ていますのでご注意ください。



#### アッパーBOXを2台乗せている場合



#### フィラーBOXの場合



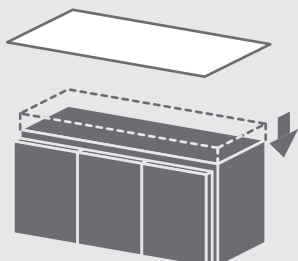
## 5. アッパーBOX / フィラーBOXの取り付け方法

■ 収納本体を移動してレイアウトを変更したあと、BOXの取り付けが必要になります。  
ここではBOXの取り付け方法についてご説明します。

1

### 全体を下げる

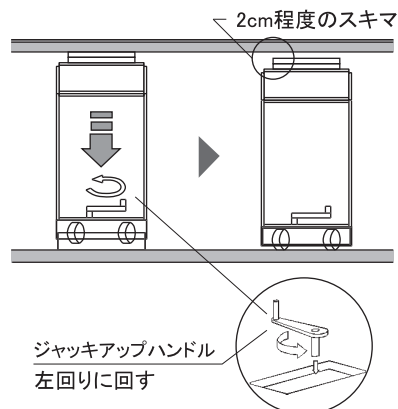
アッパーBOX      フィラーBOX



- ① ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。
- ② ハンドルを15~20回程度、左回りに回して収納本体を下げます。

#### ▲ 注意

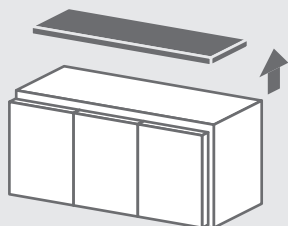
ハンドルをロックするまで回すとキャスターが床に接地し可動状態になり、作業時不意に収納が動く恐れがあります。収納本体が動かないことをご確認ください。



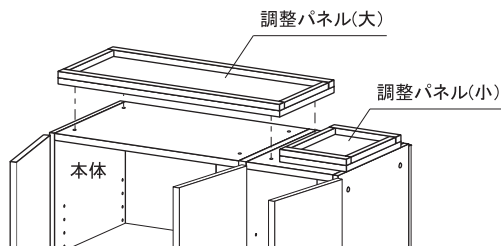
2

### 調整パネルを外す

アッパーBOX      フィラーBOX



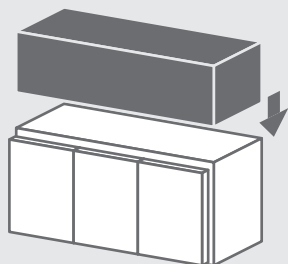
本体天板に調整パネルが取り付けられている場合は5ページを参考に調整パネルを取り外します。



3

### BOXを取り付ける

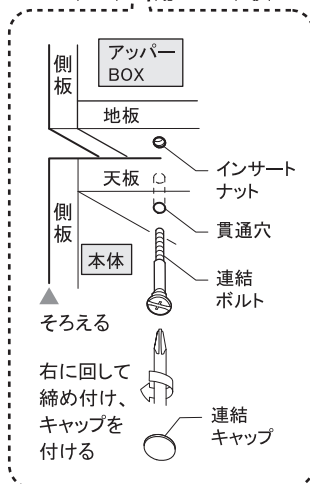
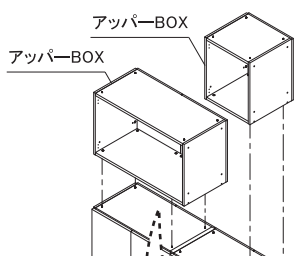
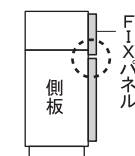
アッパーBOX      フィラーBOX



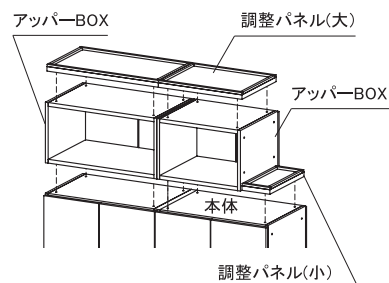
- ① 本体にアッパーBOXを乗せ、側板外面同士を揃えて連結ボルトで固定し、キャップを付けます。(下図参照)

#### ▲ 注意

FIXパネルがアッパーBOX地板より下に出ていますのでご注意ください。

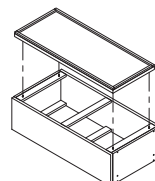


#### アッパーBOXを2台乗せる場合



#### フィラーBOXの場合

本体にBOXを乗せる前に、調整パネルを取り付けてください。

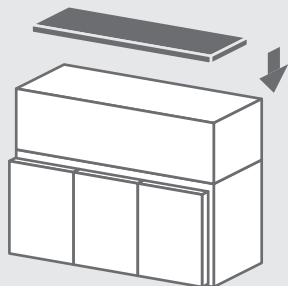




## 5. アッパーBOX / フィラーBOXの取り付け方法

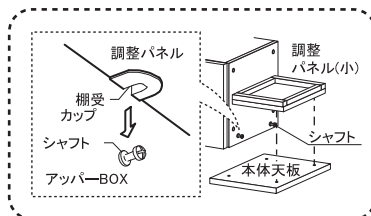
### 4 調整パネルを取り付ける

アッパーBOX



① アッパーBOXに調整パネル(大)を乗せ、側板外面同士を揃えて連結ボルトで固定し、キャップを付けます。(右図参照)

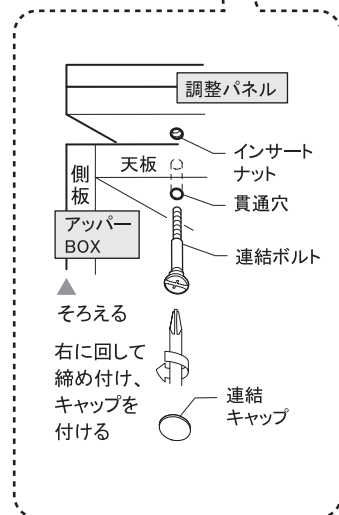
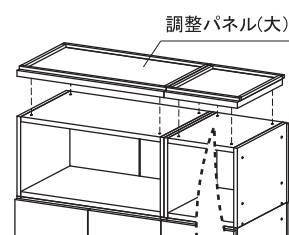
※ 調整パネル(小)を取り付ける場合、アッパーBOXにシャフトを取り付け、調整パネルと組み合わせます。



② サイドスペーサー受け(小)を取り外していた場合は、必要に応じてサイドスペーサー受け(小)を取り付けます。

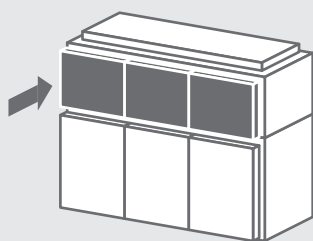
#### ▲ 注意

調整パネルの取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。



### 5 扉を取り付ける

アッパーBOX



① 片方の手で扉を持ち、もう片方の手で扉裏面の蝶番中央部にある芯を、座金のフックに引っかけてます。

② カチッと音が鳴るまでしっかり押し込みます。

※ 蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を数回開閉して確認してください。

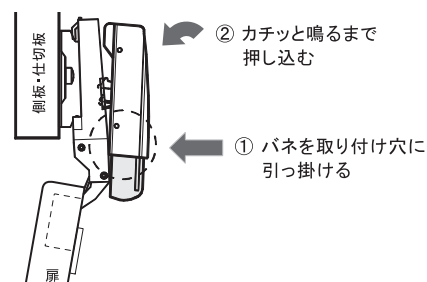
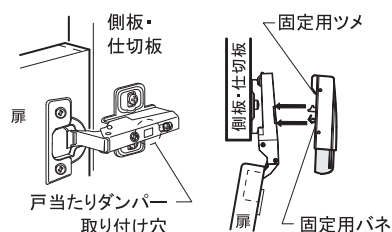
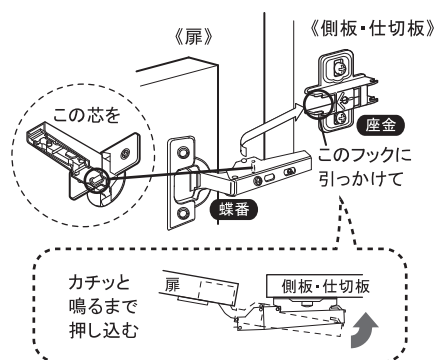
#### ▲ 注意

扉の取り外しは高い場所での作業となりますので、十分ご注意ください。

③ 各扉1個ずつ戸当たりダンパーを取り付けます。下の蝶番への取り付けを推奨します。

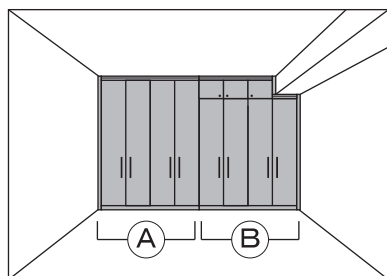
④ 蝶番の戸当たりダンパー取り付け穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合わせてください。

⑤ 固定用バネを蝶番の取り付け穴に引っ掛け、戸当たりダンパー後部をカチッと鳴るまで蝶番を押し込み、取り付けます。

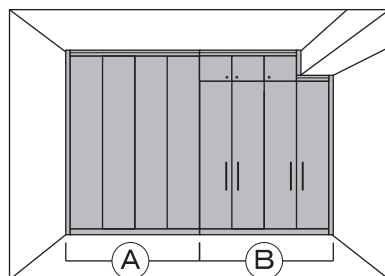
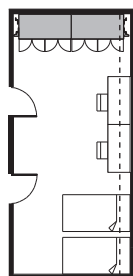


## 6. 収納本体の移動

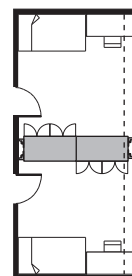
本体を梁に対して直角に移動させる場合 ※BOXを取り外さずに移動できます。



本体を壁際に寄せたワンルームプラン



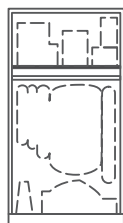
本体を中央に設置し二室に分けたプラン



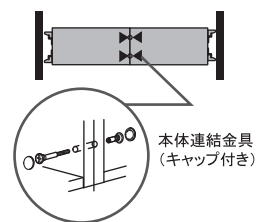
### 注意



収納本体移動の際、  
収納物をすべて  
取り出してください。  
ジャッキアップキャスターの故  
障や床面へのキズやへこみの  
原因となりますので、必ず空の  
状態で作業を行ってください。



収納本体移動の際、必ず本体  
連結金具を外してください。  
連結したままジャッキアップハンドルを  
回して本体を昇降させると、破損の原因  
となります。  
本体同士が連結されていないかどうか  
必ずご確認ください。



本体連結金具  
(キャップ付き)

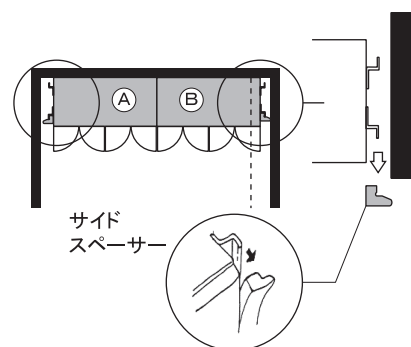
1

### サイドスペーサーを 取り外す

本体と壁面の間に差し込まれている  
サイドスペーサーを取り外します。  
※ 壁際を押すとサイドスペーサーと  
壁の間に指が入り、スペーサー  
受けからスペーサーを引き出す  
ことができます。

#### 注意

収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。



サイド  
スペーサー

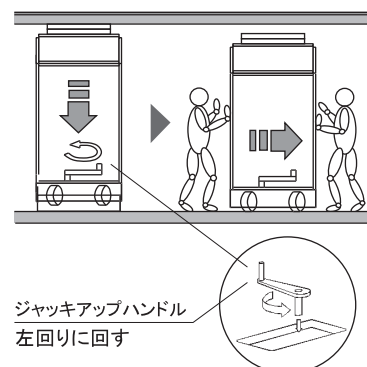
2

### 収納本体を 可動状態にする

- ジャッキアップハンドルのふたを開けてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。
- ハンドルがロックするまで左回りに回します。

#### 注意

事故防止のため作業は2人以上で行ってください。

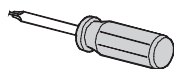


ジャッキアップハンドル  
左回りに回す

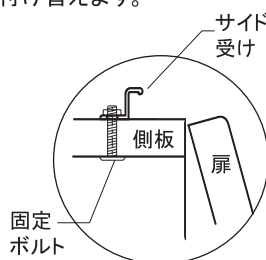
## 6. 収納本体の移動

### 3 サイドスペーサー受けの 取り付け位置を変更する

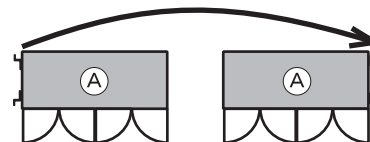
作業には  
手回しの⊕ドライバーが  
必要です。



本体①のサイドスペーサー受けを、反対側(移動先で壁に寄せるほうの側板)に付け替えます。



左側から右側へ  
付け替える



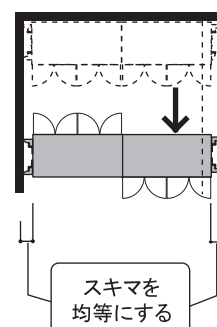
### 4 収納本体を移動する

収納本体を設置場所へ移動し、壁と収納本体側板とのスキマが左右均等になるように並べます。(設計スキマ幅各36.5mm)

※ サイドスペーサーを定規にするとスキマを均等にすることができます。

#### ▲ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。  
また、収納本体と照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながら動かしてください。

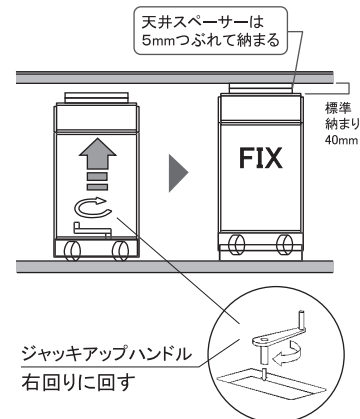


### 5 収納本体を固定する

収納本体と天井が突っ張るまで、ジャッキアップハンドルを右回りに回します。

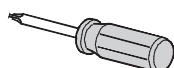
#### ▲ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。



### 6 サイドスペーサーと本体 連結金具を取り付ける

作業には  
手回しの⊕ドライバーが  
必要です。

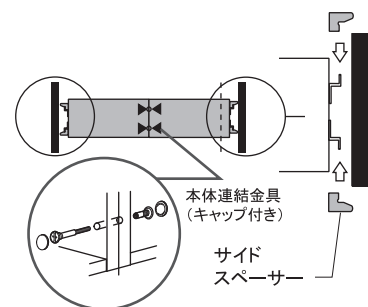


① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。

② 収納本体同士のスキマが気になる場合は、本体連結金具を取り付けて2台を連結します。

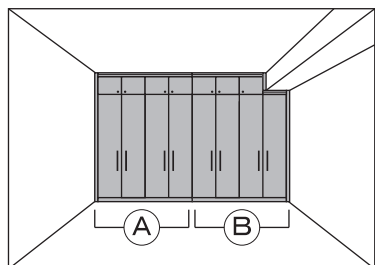
③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。

※ この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。

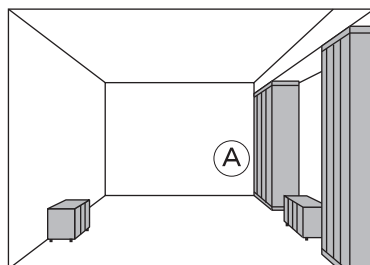
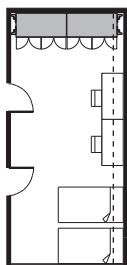


## 6. 収納本体の移動

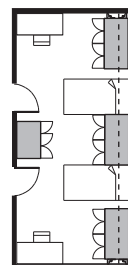
本体を梁に対して平行に移動させる場合 ※BOXを取り外して移動します。



本体を壁際に寄せたワンルームプラン



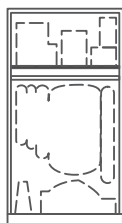
アッパーBOXを床に下ろして  
本体を梁に平行に設置したプラン



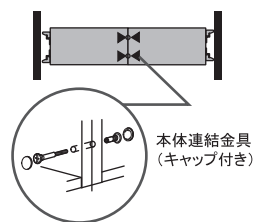
### 注意



収納本体移動の際、  
収納物をすべて  
取り出してください。  
ジャッキアップキャスターの故  
障や床面へのキズやへこみの  
原因となりますので、必ず空の  
状態で作業を行ってください。



収納本体移動の際、必ず本体  
連結金具を外してください。  
連結したままジャッキアップハンドルを  
回して本体を昇降させると、破損の原因  
となります。  
本体同士が連結されていないかどうか  
必ずご確認ください。



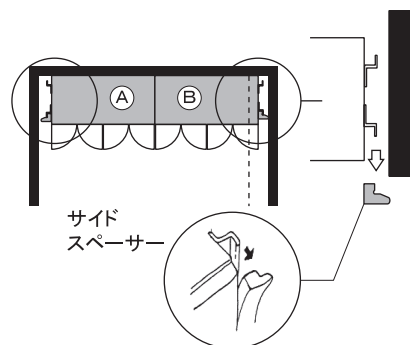
1

### サイドスペーサーを 取り外す

本体と壁面の間に差し込まれている  
サイドスペーサーを取り外します。  
※ 壁際を押すとサイドスペーサーと  
壁の間に指が入り、スペーサー  
受けからスペーサーを引き出す  
ことができます。

注意

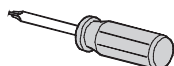
収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。



2

### 収納本体を少し下げ BOXを取り外す

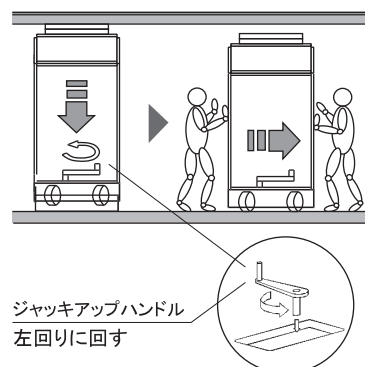
作業には  
手回しの⊕ドライバーが  
必要です。



4～6ページの『アッパーBOX / フィ  
ラーBOXの外し方』を参考に、BO  
Xを取り外します。

注意

事故防止のため作業は2人以上で  
行ってください。



ジャッキアップハンドル  
左回りに回す

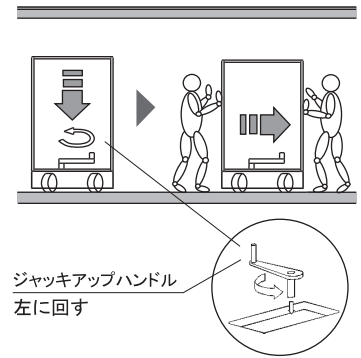
## 6. 収納本体の移動

### 3 収納本体を移動する

- ① ハンドルが回りきるまで左回りに回し、収納本体を移動させます。
- ② 移動先で壁と収納本体側板との間にスキマをあけて並べます。(設計スキマ幅36.5mm)  
※ サイドスペーサーを定規にするとスキマが調整しやすくなります。

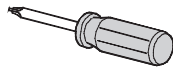
#### ▲ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。



### 4 本体天板に調整パネルを取り付けて、収納本体を固定する

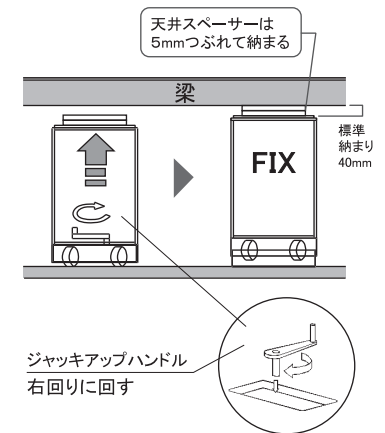
作業には手回しの⊕ドライバーが必要です。



- ① ハンドルを15~20回程度右回りに回して、本体が動かない程度に固定し、本体天板の上に調整パネルを乗せ連結金具で固定します。
- ② 収納本体と天井が突っ張るまでハンドルを回して固定します。

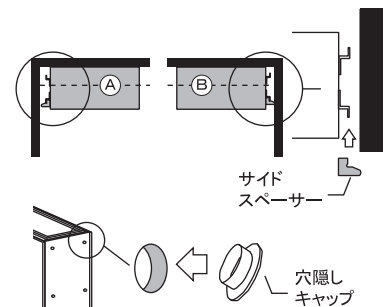
#### ▲ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。



### 5 サイドスペーサーと穴隠しキャップを取り付ける

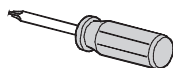
- ① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。
- ② オープンになっている方の側板の本体連結用穴に、穴隠しキャップを取り付けます。(8ヶ所)
- ③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。  
※ この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。



### 6 アッパーBOXを設置する

※アッパーBOXを床に下ろして使用する場合のみ。

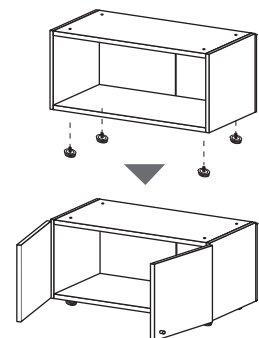
作業には手回しの⊕ドライバーが必要です。



- ① アッパーBOXの連結金具取り付け位置に専用の脚(別売)を取り付けます。
- ② 7~8ページを参考にし、扉を取り付けます。

#### ▲ 注意

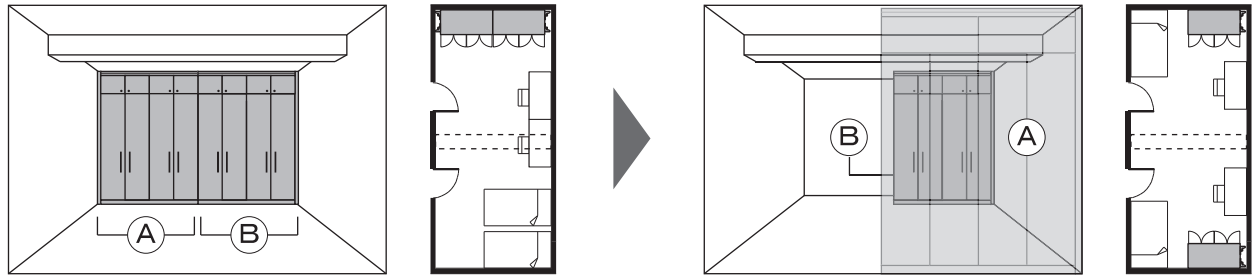
BOXの上に座ったり乗ったりしないでください。BOXの破損や変形により転倒し、ケガをする恐れがあります。特に小さいお子様には十分にご注意ください。



【脚セット(別売)に含まれるもの】・アッパーBOX取り付け用脚(2種類)・φ10穴用穴隠しキャップ  
※詳しくは脚セット付属の説明書をご覧ください。

## 6. 収納本体の移動

梁下をくぐって本体を移動させる場合 ※BOXを取り外して移動します。



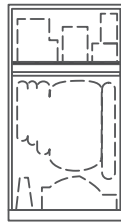
本体を壁際に寄せたワンルームプラン

梁下をくぐって本体Aを移動したプラン

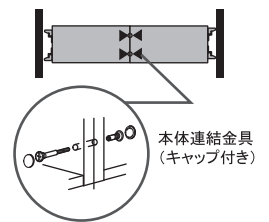
### ⚠ 注意



収納本体移動の際、  
収納物をすべて  
取り出してください。  
ジャッキアップキャスターの故  
障や床面へのキズやへこみの  
原因となりますので、必ず空の  
状態で作業を行ってください。



収納本体移動の際、必ず本体  
連結金具を外してください。  
連結したままジャッキアップハンドル  
を回して本体を昇降させると、破損の原因  
となります。  
本体同士が連結されていないかどうか  
必ずご確認ください。



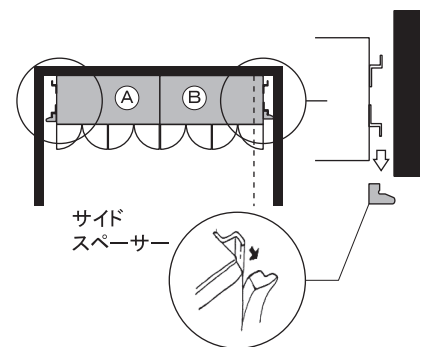
1

### サイドスペーサーを 取り外す

本体と壁面の間に差し込まれてい  
るサイドスペーサーを取り外します。  
※ 壁際を押すとサイドスペーサーと  
壁の間に指が入り、スペーサー  
受けからスペーサーを引き出す  
ことができます。

#### ⚠ 注意

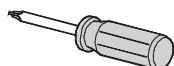
収納本体が床に固定され動かないことを確認してください。



2

### 収納本体を少し下げ BOXを取り外す

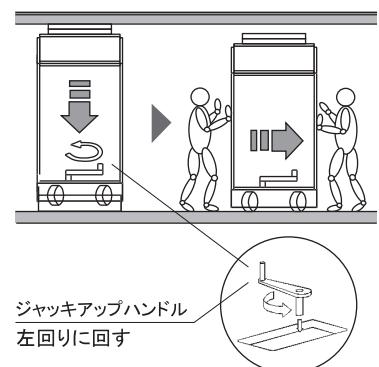
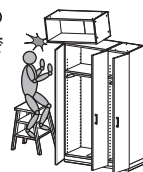
作業には  
手回しの⊕ドライバーが  
必要です。



4～6ページの『アップーBOX / フィ  
ラーBOXの外し方』を参考に、BO  
Xを取り外します。

#### ⚠ 注意

事故防止のため  
作業は2人以上で  
行ってください。



ジャッキアップハンドル  
左回りに回す

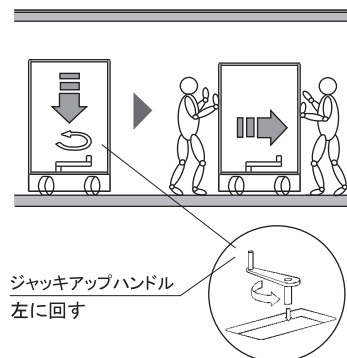
## 6. 収納本体の移動

### 3 収納本体を移動する

- ① ハンドルが回りきるまで左回りに回し、収納本体を移動させます。
- ② 移動先で壁と収納本体側板との間にスキマをあけて並べます。(設計スキマ幅36.5mm)  
※ サイドスペーサーを定規にするとスキマが調整しやすくなります。

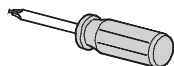
#### ▲ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。



### 4 本体天板にBOXを取り付ける

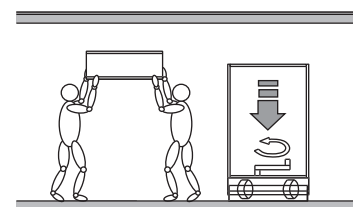
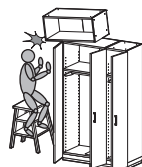
作業には手回しの⊕ドライバーが必要です。



7～8ページの『アップーBOX / フィラーBOXの取り付け方法』を参考に、BOXを取り付けます。

#### ▲ 注意

事故防止のため作業は2人以上で行ってください。

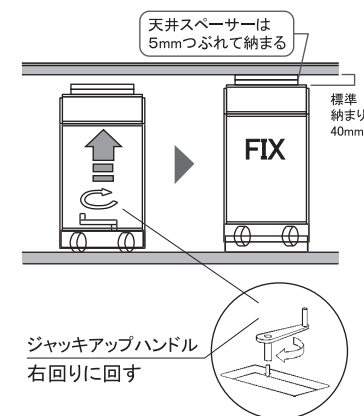


### 5 収納本体を固定する

収納本体と天井が突っ張るまで、ジャッキアップハンドルを右回りに回します。

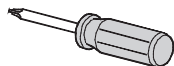
#### ▲ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

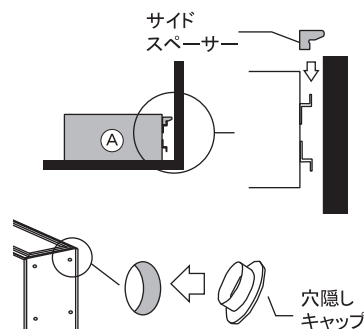


### 6 サイドスペーサーと穴隠しキャップを取り付ける

作業には手回しの⊕ドライバーが必要です。



- ① 収納本体と壁とのスキマにサイドスペーサーを押し込み、スキマをふさぎます。
- ② オープンになっている方の側板の本体連結用穴に、穴隠しキャップを取り付けます。(8ヶ所)
- ③ ジャッキアップハンドルとふたを元に戻して完了です。  
※ この説明書は、次に収納本体を移動するまで大切に保管してください。



## 7. ユーザーサポート

### 《商品の保証》

商品は厳密な検査に合格してお届けしております。

施工説明書に従って正しい施工が行われ、取扱説明書、本体注意表示等に従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合は、お引き渡し日より2年間、以下の保証規定により無料で修理を行うことをお約束します。

#### 【無料修理規定】

1. 施工説明書、取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
  - (1) 取扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
  - (2) 移動時の衝撃等による故障及び損傷
  - (3) 商品を購入された施工店または弊社以外による修理、改造等による故障及び損傷
  - (4) 商品以外の住宅の構造体、構成部材及び地盤のゆがみ等による故障及び損傷
  - (5) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変、公害、治安の混乱等による故障及び損傷
  - (6) 瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
3. 消耗品類は本保証規定による保証の対象とはなりません。
4. 商品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、弊社はその責任を負わないものとします。
5. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。

### 改正建築基準法(シックハウス対策)への対応に関する表示

住宅部品表示ガイドラインによる表示

**F☆☆☆☆**

※ お問い合わせ、詳細資料提出等は  
下記の窓口で承ります。

<内装仕上部分>

ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

<下地部分>

ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆
パーティクルボード	F☆☆☆☆
集成材	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆